令和６年度用小学校音楽

──────────────────────　第３学年　年間学習指導計画作成資料（2024. 3. 8)　─────────────────────

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、弊社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１〜６〈104〜604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成29年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

　（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

　（２）「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

　（３）「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

　の視点に基づいて作成しています。

　（１）について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。３学期制と２学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。

・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。

・「Ａ表現」⑴歌唱、⑵器楽、⑶音楽づくりのア、イ、ウの各事項、「Ｂ鑑賞」のア、イの指導事項は、 各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。

・学期ごとや１年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。

・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で記しています。

・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

|  |  |
| --- | --- |
| 第３学年　年間学習指導計画作成資料 | 学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力） |
| 【第３学年及び第４学年 目標】 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(3)進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | Ａ表現 | Ｂ鑑賞 | 〔共通事項〕 |
| 扱い月の目安 | 扱い時数 | 題材名 | 題材の目標(1)「知識及び技能」の習得(2)「思考力、判断力、表現力等」の育成(3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり　**♪**…鑑賞(共)…共通教材 | 歌唱 | 器楽 | 音楽づくり | 鑑賞 |
| 合計60 | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ア 音楽を形づくっている要素 | イ 音符、休符、記号や用語 |
| (ア)  | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア)  | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |
| 年間 | − | 巻頭 |  |  | ようこそ リコーダーの世界へ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ | ４ | ６ | 1.音楽で心をつなげよう | (1)曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。(2)リズム、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。(3)曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 | ・友だちと声を合わせて歌いましょう。  | ○ハッピーソング | ○ | ○ |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色リズム旋律拍フレーズ | ブレス |
|  |  | (そだてよう)リズムでなかよくなろう |  |  |  |  |  | ○ | ○ |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・春の様子を思いうかべて、歌い方をくふうしましょう。  | (共)春の小川 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５５ | ５５ | ・曲のかんじを生かして歌いましょう。 | (共)茶つみ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ４ | 2.歌って音の高さをかんじとろう | (1)曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱や範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能や、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。(2)旋律、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。(3)音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、読譜に親しむ。 | ・音の高さに気をつけながら、歌ったりえんそうしたりしましょう。 | ○◇ドレミで歌おう | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色**旋律**音階音楽の縦と横との関係 | ト音記号五線と加線縦線終止線小節 |
|  |  | (そだてよう)ドレミと友だちになろう |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・楽器と合わせて、明るい声で歌いましょう。  | ○◇海風きって | ◎ | ◎ | ◎ |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ８ | 3.リコーダーのひびきに親しもう | (1)リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する基本的な技能を身に付ける。(2)音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。(3)リコーダーの音色や演奏の仕方に親しむ学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。 | （導入）はじめましてリコーダー | ヘッドピースで音あそび**♪**小鳥のために（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  | ○ | **音色**リズム旋律 | 付点２分音符付点４分音符 |
| ６ | ６ | （導入）リコーダーと友だち | **♪**ピタゴラスイッチ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ |
|  |  | （導入）タンギングと息の使い方 | (そだてよう)いろいろな**シ**の音であそぼう |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・タンギングに気をつけてきれいな音でふきましょう。 | ◇ふいてみよう①（シ・ラ）／　わらべうたにちょうせん！／　ふいてみよう②（シ・ラ・ソ）／きれいな ソラシ |  |  |  |  |  | ○ |  | ◎ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・息の使い方に気をつけて歌うようにふきましょう。 | ◇坂 道／雨上がり |  |  |  |  |  | ◎ |  | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ７ | ７ | (そだてよう)いろいろな音であそぼう |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  |
|  |  | ９ | 4.拍にのってリズムをかんじとろう | (1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、拍にのって互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能、反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。(2)リズム、旋律、拍、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもったりする。(3)拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくりの学習活動に取り組む。 | ・２拍子にのってえんそうしましょう。 | ◇○ゆかいな木きん |  | ○ | ○ |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色リズム旋律**拍**フレーズ反復変化 | ４分の２拍子４分の３拍子４分の４拍子タイ |
|  |  | ・拍子のかんじを生かしてえんそうしましょう。 | ◇○あの雲のように |  | ○ | ○ |  |  | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ◇アチャ パチャ ノチャ |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ９ | ９ | ・くりかえしや変化を使って、　まとまりのあるリズムをつくりましょう。 | ☆手拍子でリズム |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  | ◎ |  |  |
|  |  | ７ | 5.せんりつのとくちょうをかんじとろう | (1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。(2)旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。(3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、旋律の特徴を生かした表現に親しむ。 | ・せんりつの音の上がり下がりに気をつけて歌いましょう。 | ○◇とどけよう このゆめを | ○ | ◎ |  | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色リズム**旋律**強弱フレーズ反復 |  |
| 10 | 10 | ・せんりつの音の上がり下がりに気をつけてききましょう。 | **♪**メヌエット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・曲の山をかんじながら歌いましょう。  | (共)ふじ山 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・日本に古くからつたわるせんりつのよさをかんじとって歌いましょう。 | (共)うさぎ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ６ | 6.せんりつの重なりをかんじとろう | (1)曲想及びその変化と、音色や旋律、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。(2)音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。(3)旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の重なりに親しむ。 | ・せんりつの重なりを楽しみながら、　きいたり歌ったりしましょう。 | **♪**か ね |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色**旋律**強弱**音の重なり**反復 |  |
| 11 | 11 | ○歌おう 声高く | ◎ | ◎ |  |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・せんりつの重なりをかんじとってえんそうしましょう。  | (そだてよう)リコーダーのひくい音であそぼう |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ◇メリーさんのひつじ |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 | 12 | ９ | 7.いろいろな音のひびきに親しもう | (1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、音楽づくりの技能を身に付ける。(2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。(3)楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられるいろいろな音の響きに親しむ。 | ・トランペットの音色に親しんでききましょう。 | **♪**トランペットふきの休日 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | **音色**旋律強弱音の重なり反復呼びかけとこたえ |  |
| **♪**よろこびの歌（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
|  |  | ・重なり合う音のひびきをかんじとりながら合奏しましょう。 | ◇パ フ |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １ | １ | ・時間のながれに合わせて、音楽をつくりましょう。  | ☆クロック ミュージック |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |
|  |  | ５ | 8.ちいきにつたわる音楽でつながろう | (1)曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりや、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音の上がり下がりを感じ取って、旋律をつくる技能を身に付ける。(2)音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を味わって聴いたりする。(3)祭り囃子に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組み、郷土に伝わる音楽に親しむ。 | ・祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう。 | **♪**神田囃子「投げ合い」 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色リズム**速度**旋律拍変化 |  |
|  |  | (チャレンジ)ちいきにつたわる祭りばやしを調べよう |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| ２ | ２ | ・３つの音で、自分たちのおはやしをつくりましょう。 | ☆ラの音でせんりつづくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  | ◎ |  |  |
| (チャレンジ)しめだいこを打ってみよう |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ６ | 9.思いを音楽で表そう | (1)曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。(2)音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。(3)自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、友達と協力して表現の工夫をする態度を育む。 | ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、曲のかんじを生かして歌いましょう。 | ○帰り道 | ◎ | ◎ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | **音色****旋律**音の重なり**フレーズ** | 全音符 |
| ３ | ３ | ・いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら　合奏しましょう。 | ◇エーデルワイス |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 年間 | − | 巻末 | 歌いつごう 日本の歌 | 世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 | ゆりかごの歌／七つの子／どこかで春が | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 全般 |  |
| みんなで楽しく | 各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。 | ほしぞらおはよう おはように じゴー ゴー ゴーまた あそぼHead, Shoulders, Knees And Toes友だちよろこびの歌ゆかいなまきばミッキーマウス マーチ | ○○○○○○○ | ○○○○○○○ | ○○○○○○○ | ○○○○○○○ | ○○○○○○○ | ○○○○ | ○○○○ | ○○○○ | ○○○○ | ○○○○ | ○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。 | 国歌「君が代」 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |